

令和2年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○「令和の四改革」の推進により、すべての子どもの学ぶ力の向上を図る。

【学校目標】

○学び続ける子どもの育成：「わかる・できる」から「つかう・おこなう」へ

【現状と課題】

- 視点1 (学習教材との出会い)学んでいることにやりがい、充実感を感じる授業改革による主体的な学びの向上
  - 指示された事はできる／自分から考え工夫する力が乏しい
- 視点2 (相手との対話・自己との対話)学習での子ども同士の「ほめ方・認め方」の工夫による共感的対話的な学び
  - できなさ、わからなさをかくす／失敗をさげすむ／さそいあったり、はげましあったりできない
- 視点3 (校内研究を中心とする授業改革の推進/読書習慣の定着)
  - 教科横断的、全校的な研究としての深まりが弱い／読書習慣の身につけ方に個人差がある

取組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○学んでいることにやりがい、充実感が感じられる場の設定 ・児童の心がときめき、学習課題設定につながる導入の工夫 ・学習課題設定と学習のまとめとふりかえりを大切にした授業づくり ・思考の可視化、構造化を目指した板書計画とノート指導	<b>【取組事項】</b> ○共感的対話的な学習の充実 ・児童の思考力を高める草津型ALを大切にした対話的な学びの充実 ・「ほめ方・認め方」リーフレットを活用し、学級の共感的な雰囲気をつくり出した授業実践 ・教職員が連携しながら、児童の思いを聞き、ほめ、「大事だよ」と伝える日々の実践とみどり	<b>【取組事項】</b> ○授業改革の推進 ・校内研究を中心とした授業研究の充実 ・単元計画と評価の一体化を目指し、教材研究の場を大切にする。具体的には、時間的なゆとり(放課後業務の整理) 交流の場の設定(メンター形式によるOJT等) ・読書習慣の定着をはかる読書の取組みの充実

その他 取組事項

学習の基礎である学習規律を高め、学力の定着につなげる。(あいさつ あんぜん あつしまつ)

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体	学び続ける子どもの育成	児童アンケート(学校評価含む)の肯定率 80%以上		
視点1	授業の導入の工夫	教職員アンケート(学校評価含む)授業改善に係る実践		
	学習課題とまとめ、ふり返りの一体化	教職員アンケート(学校評価含む)授業改善に係る実践		
視点2	共感的対話的な学習の充実	学校評価「草津型アクティブ・ラーニングを積極的に推進している」4以上の割合		
視点3	校内研究体制と教員研修の充実	学校評価「教職員のニーズを捉えた学校課題に係る校内研修に計画的に取り組んでいる」4以上の割合		
	読書習慣の定着	図書室の貸し出し冊数 1人あたり年間20冊以上の児童の割合		
その他	学習規律の定着	児童アンケートの肯定率 80%以上		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--